

第5回 共生のひろば 開催プログラム

2010年2月11日(木・祝) 兵庫県立 人と自然の博物館

日時: 2010年2月11日(木・祝) 10:00 - 17:00 (9:30受付開始)
会場: 兵庫県立人と自然の博物館 ホロンピアホール
入館料: 200円 (発表者は不要)

プログラム

基調講演	10:03 - 10:23
発表 (午前)	10:25 - 12:01
発表 (午後)	13:00 - 15:00
ポスター・作品解説	15:00 - 17:00
茶話会	17:30 - 18:30



主催: 兵庫県立人と自然の博物館

共催: ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット、RCE兵庫-神戸

協力: 神戸大学サイエンスショップ

連携協力: 生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会

プログラム

- 9:30 開館. 入場開始
- 10:00~10:05 開会挨拶 中瀬 勲 人と自然の博物館副館長
- 10:05~10:25 **基調講演「人と自然の共生とはどういうことか」** 河合雅雄 (人と自然の博物館名誉館長)
- 口頭発表 (OP) (発表 10分、質疑 2分)**
- 10:30~10:42 OP-01 **ミスジナガハグサ (イネ科イチゴツナギ属) の謎 2—ミスジナガハグサとナガハグサの相違点—** 西野雅満 (植物リサーチクラブ・ひとはく地域研究員)
- 10:42~10:54 OP-02 **昆陽池の水生生物相について** 岸部 克也・山本修平・朝井琢也・今井佑輔・岩下敢太 (兵庫県立伊丹北高校 自然科学部)・谷本 卓弥 (同顧問・ひとはく地域研究員)
- 10:54~11:06 OP-03 **15年間で著しく減少した川西市加茂地区のヒメボタル** 畚野 剛・市原敏彦・井上道博・恵須川満延・澤山輝彦・中本二郎・平田信活 (川西自然教室)
- 11:06~11:18 OP-04 **ホタル幼虫の上陸セミナー、3年間のまとめ** 藤井真理・溝田浩美 (受講生代表)
- 11:18~11:30 OP-05 **ぎっちゃん君とともに** 三木くに枝・岩崎博子 (ひとはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」)
- 11:30~11:42 OP-06 **六甲山におけるキノコの長期観測データを用いた出現種数の推定および気象要因との対応分析** 森田綾子・大西里佳・田中友香里・鷺見秋彦・中川湧太 (兵庫県立御影高等学校)
- 11:42~11:54 OP-07 **みんなで出来る川の自然再生 ~竹筋コンクリート水制のつくり方~** 清水洋平・久加朋子・佐々木宏展・大澤剛士・石田裕子 (ひとはく連携活動グループ 水辺のフィールドミュージアム研究会)
- 11:54~12:06 OP-08 **ムコのピオトープづくり活動を通して ~いのちをかながえる~** 池野知行・小南亘輝・北川達也・紀之内拓巳・坪田祐典・松矢一輝・勝井悠生・原 悠平・室山容一朗・大原創一朗・辻元凌太・門田欽大・芝本光希・小南智輝・郡山佳太・松下 修・藤奈央樹 (武庫小学校 さかな委員会及び担当者)
- (12:06~13:00 昼食休憩)
- 13:00~13:12 OP-09 **尼崎 21世紀の森・尼崎の森中央緑地の森づくり** 高木一宇 (アマフォレストの会)
- 13:12~13:24 OP-10 **住吉川の自然再生に向けた里海づくりのための調査活動** 里野晶子 (神戸川と海を考える会)・島本信夫 (アマモ種子バンク)
- 13:24~13:36 OP-11 **住吉川の自然再生に向けたアユの棲みやすい川づくりのための調査活動** 関桂一 (住吉川清流の会)・島本信夫 (アマモ種子バンク)
- 13:36~13:48 OP-12 **安室川の淡水産紅藻チスジノリを復活させる試み Part IV** 大田沙弥香・小谷真莉亜・東真央・ほか 21名 (上郡中学校科学部)
- 13:48~14:00 OP-13 **水生寄生蜂 *Apsilops* sp. (ヒメバチ科: トガリヒメバチ亜科) の生活史と寄主探索行動** 長崎 撰 (豊中市立第十四中学校)・平山智子 (神戸女学院大学)
- 14:00~14:12 OP-14 **学校のプールにいたミジンコ (*Daphnia pulex*) の行動と生態~耐久卵の殻の意味を中心に~** 川底英剛・西 拓樹・木嶋崇人・神野泰淳・美間克也・伊藤 毅・高嶋志門 (大阪府茨木市立三島中学校科学部)・佐々木宏展 (同 顧問)
- 14:12~14:24 OP-15 **コヤマトビケラの生活誌—幼虫集合行動の目的を探る—** 松岡純平・原口太志 (兵庫県立福崎高等学校)
- 14:24~14:36 OP-16 **生物多様性の保全のために 微酸性電解水をもちいた無菌培養オートクレーブ、クリーンベンチを使わないバイオ実験技術の開発** 朴木彩乃・梶 遥香・飯塚 翔・足立梨瑛・歌崎 聖 (兵庫県立大学附属高校自然科学部生物班)・田村 統 (同 顧問)
- 14:36~14:46 コメント (コメンテーター: 白木江都子 (貝塚市立遊学館) 伊藤真之 (神戸大学)
- 14:46~15:00 口頭発表に対する総評 岩槻邦男 (人と自然の博物館 館長)
- 15:00~17:00 「共生のひろば展」ポスターセッション・作品解説 (場所: 企画展示室)
- 17:30~18:30 各賞発表、茶話会 (場所: ひとはくサロン)

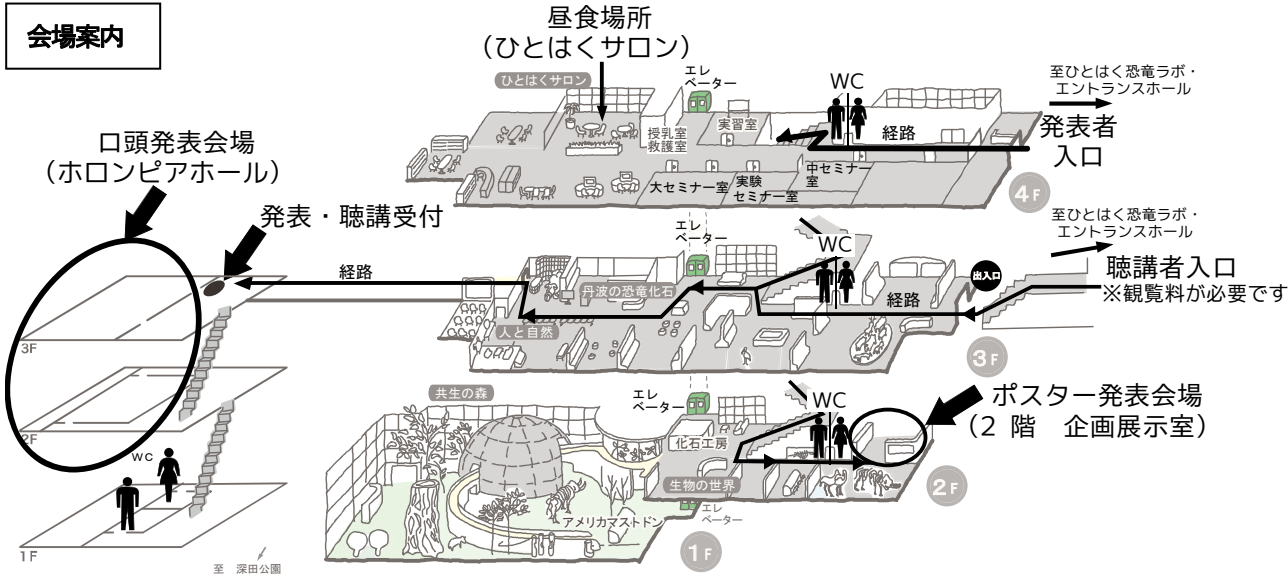
ポスターセッション・作品展示 (PP) (本館2階 企画展示室)

発表番号の頭に*がある発表は作品展示に該当します。

時間: 15:00~17:00

- *PP-01 **明石公園で虫をみつけたよ ~ぼくたち・わたしたちの昆虫採集~** 明石市立明石小学校3年生
- PP-02 **ミツバチは永久の友** ひとはく連携活動グループ アピス同好会
- PP-03 **サイエンスカフェはりまの設立と活動** 尾崎勝彦 (サイエンスカフェはりま世話人)
- PP-04 **ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット** 久保田 宏・伊藤真之 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)・田中成典 (同工学研究科) ほか
- PP-05 **農産物直売所のススメ** 塩山沙弥香 (兵庫県立大学大学院 環境人間科学研究科 共生博物部門)
- PP-06 **尼崎 21 世紀の森・尼崎の森中央緑地の森づくり** 高木一字 (アマフォレストの会)
- *PP-07 **「ふれあいの里山」復活大作戦 IN 明石** 川島幸夫エコウイング明石 (明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会)
- PP-08 **2009 どんぐりっ子あつまれ エコエネルギーで資源循環型の森づくり** 内橋欣司 (北はりま地域づくり応援団)
- PP-09 **生物多様性の保全のために 微酸性電解水をもちいた無菌培養 オートクレーブ、クリーンベンチを使わないバイオ実験技術の開発** 梶 遥香・朴木彩乃・飯塚 翔・足立梨瑛・歌崎 聖 (兵庫県立大学附属高校自然科学部生物班)・田村統 (同 顧問)
- *PP-10 **山陰海岸ジオパーク地形・地質模型** 松原 勝 (石ころクラブ)
- PP-11 **「世界で一つの貴石を探そう! ~河川敷での観察学習報告~」** 吉田士郎・山本英夫・岡崎聡郎・小田昌代・小林賢二・小林爽子・高田 要・西尾勝彦・西田 猛・藤本美智子・古田洋理・松永恵子・山田 登 (おおばこの会)
- *PP-12 **「ふるさといきもの館」を実施して** 波多野哲哉 (ひとはく連携活動グループ 山東の自然に親しむ会)
- PP-13 **鳴く虫ワールド2009** ひとはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」
- PP-14 **神戸大学サイエンスショップ** 堂園いくみ・伊藤真之・蛭名邦禎・前川恵美子 ほか (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
- PP-15 **学校林「浄川の森」を使った小学校3年生の自然体験学習ー『「浄川の森」を知ろう』の実施** 谷山陽子・笹倉智子・山内寛和 (西宮市立山口小学校3年生担当)
- *PP-16 **朝来市立与布土小学校3年生環境体験学習 自然にふれあい、ふるさと与布土(ようど)の良さを発見しよう!** 朝来市立与布土小学校3年生・大槻かおり (同 顧問)
- PP-17 **神戸大学サイエンスショップ天文ボランティア ~アストロノミア~の活動報告** 永田優子 (神戸大学発達科学部)・飯田広史・大 善雄 (同・大学院人間発達環境学研究科)
- PP-18 **NPO 法人 日本ハンザキ研究所 が進める環境教育の実践** 田口勇輝・栃本武良 (特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所)

- PP-19 **東お多福山草原刈り取り管理の2年間の成果と今後の展望** 桑田 結 (ブナを植える会)・芦屋森の会 2001・日本山岳会 関西支部・六甲楽学会
- PP-20 **古寺山の小さな谷の生きもの** 渡辺昌造 (兵庫県立大学 環境人間学研究科)
- PP-21 **エコトランクで楽しく遊ぶ! 学ぶ!** 赤阪幸司・芦田博貴・遠藤健彦・大島達也・神谷亜依・高島基郎・田中洋次、南部恭宏・藤長裕平 (兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科)
- PP-22 **冬季における大阪城の樹林性鳥類相** 楠瀬雄三 (ひとはく地域研究員)・福井 亘 (京都府立大学生命環境学部)
- PP-23 **六甲山におけるキノコの長期観測データを用いた出現種数の推定および気象要因との対応分析** 森田綾子・大西里佳・田中友香里・鷺見秋彦・中川湧太 (兵庫県立御影高等学校)
- PP-24 **丹波地方の溜池・湿地における湿生・水生植物の植生** 松岡成久 (植物リサーチクラブ)
- *PP-25 **市民観察会の記録** 中島得三 (NPO 法人 人と自然の会 植物観察会)
- PP-26 **地元の支援者の方々と一緒に環境体験学習『葉っぱで学ぼう』を行って** 小野市立小野東小学校3年生・代表者:古田洋理
- PP-27 **ラフィア繊維の布とかご** 福田笑子 (植物リサーチクラブ)
- PP-28 **「高校生と学ぶ」～植物画を描く上での自立をめざして～** 田地川和子・貴島せい子・肥田陽子 (ひとはく連携活動グループ GREEN GRASS)
- PP-29 **トラックで移住するシダ植物** 林 美嗣 (植物リサーチクラブ・ひとはく地域研究員)
- PP-30 **続・花粉を観る** 福岡忠彦 (植物リサーチクラブ・ひとはく地域研究員)
- PP-31 **摘み菜ご飯、できたよ! おいしいな!** 西浦睦子・入口紀代里・鈴木久代・長町美幸・松浦百合・矢野直子 (ひとはく連携活動グループ NPO 法人さんぽくらぶ)・平谷けいこ・社ひとみ (摘み菜を伝える会)
- PP-32 **装飾花をもった花たち Part 2 装飾花の役割～生育環境と花の立体的配置に着目して～** 西野真美 (植物リサーチクラブ・ひとはく地域研究員)
- PP-33 **鎮守の森は何十年経っても変わらないの? —西宮市越木岩神社社叢における1978年から30年後の植生変化—** 増井啓治 (植物リサーチクラブ)
- PP-34 **高山におけるシカ食害の現状** 伊東吉夫 (植物リサーチクラブ)
- PP-35 **千刈貯水池に注ぐ波豆川、羽束川下流の水生生物の探索** 法西 浩 (ひとはく地域研究員)
- *PP-36 **兵庫県の昆虫たち** 高尾海星
- *PP-37 **市民調査による兵庫県のカタツムリの分布** カタツムリ調査・兵庫2009 実行委員会
- *PP-38 **タンポポ調査・西日本2010** タンポポ調査・西日本2010 実行委員会
- *PP-39 **「昆虫の不思議」** 矢部清隆
- *PP-40 **コガネムシ天国** 河原大芽 (姫路市立妻鹿小学校)
- *PP-41 **ハチ北高原でつかまえた昆虫** 岸本将希 (姫路市立妻鹿小学校)
- *PP-42 **あいな昆虫2009** ユース昆虫研究室



■ 電車ご利用 (ほぼ15分おき)

神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ

大阪方面から・・・JR 三田駅で神戸電鉄に乗り換え。「ウディタウン中央」行に乗車。約7分。大阪から約1時間

神戸方面から・・・地下鉄北神戸急行「谷上」で神戸電鉄三田行に乗り換え。「横山」で「ウディタウン中央」行に乗り換え。三宮から約50分

■ バス利用 (安くて速いが本数は少ない)

神姫バス「フラワータウンセンター」停留所下車すぐ。

神戸三宮 (JR 東口高架下) または新神戸駅から特急三田駅・学園7丁目・つつじヶ丘行に乗車。三宮から約45分。(ほぼ1時間に2本)

■ 自家用車ご利用 (駐車場有料)

中国自動車道「神戸三田」インター・六甲北有料道路終点から、約5分

■ 駐車場について (ややこしいです。ご注意ください!) <http://hitohaku.jp/top/parking.html>

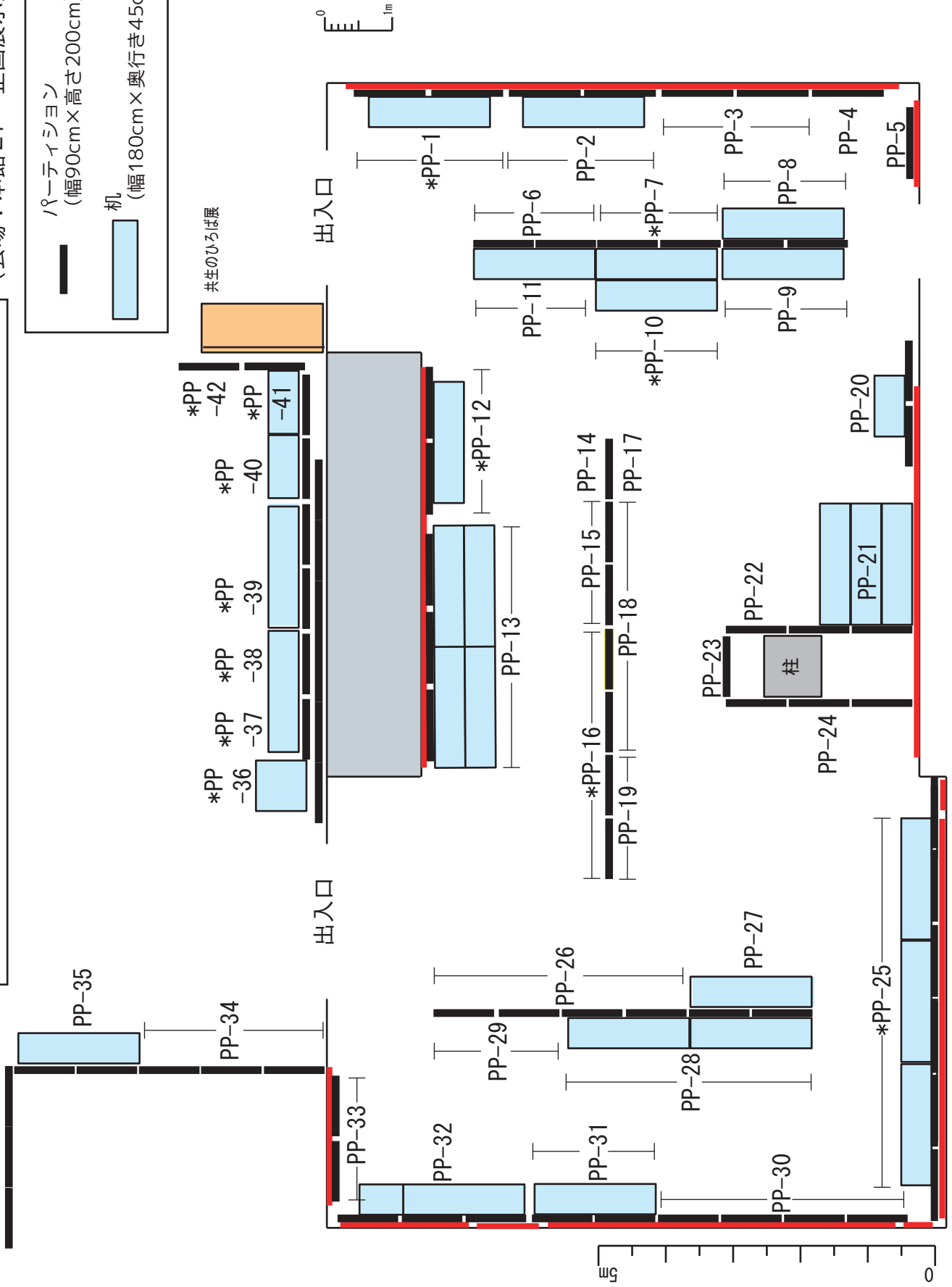
駐車場はすべて有料です。博物館近隣に3つの駐車場があり、そのうち2つに割引があります。

フラワータウンパーキング (立体駐車場) には、割引サービスがありません！ ご注意ください。5時間30分までのご利用・・・フローラ88駐車場がお得です。4時間まで無料。以後30分ごとに150円。2時間を超える場合は、割引手続きが必要です。5時間30分を超えるご利用・・・博物館平面駐車場がお得。1日1回500円。4時間を超える場合は割引手続きが必要です。

駐車場をご利用の方は、スタッフにお申し出下さい (駐車場によって割引手続きが異なります)

共生のひろばポスター・作品展示会場 配置図

(会場：本館2F 企画展示室)



諸連絡

博物館への入退館

聴講者の方は、博物館入口で観覧券（大人 200 円、小中学生 100 円、ただし県内小学生は無料）をお求めののち、ホロンピアホール 3F で受付致します。以後館への出入りの際は出入口の係員に観覧券の半券を呈示下さい。

発表者の方は、入口係員に発表者証を示して入館ください。観覧券購入の必要はありません。ホロンピアホール 3F の受付で、名札をお渡しします。以後館への出入りの際は出入口の係員に名札を呈示下さい。

講演時間

1 講演あたり 12 分（発表 10 分、質疑 2 分）を厳守願います。予鈴 8 分、本鈴 10 分、終鈴 12 分で時間をお知らせします。

発表方法

口頭発表は、原則として、Microsoft Power Point または PDF ファイルによる発表とし、機器の操作はご自身で行っていただきます。OHP、スライドプロジェクタ等の使用を希望される場合は、ご相談下さい。講演には Windows XP 搭載のパソコンを用います。他の OS で作成された場合にはレイアウトが崩れるなどの問題が起きますのでご注意ください。

データを当日持参される場合は、USB メモリ、CD-R 等で持参して下さい。午前の発表者は 9:45 まで、午後の発表者は 12:30 までに受付にお渡し下さい。発表データをあらかじめ事務局宛に送付いただけると、時間の節約とトラブル防止に役立ちます。終了後確実にデータを消去しますので、可能な方は、2/9 (月) までに、電子メールの添付ファイル (5MB 以内の場合) または「宅ふあいる便」「データ便」などの大容量ファイル送信サービスを利用し、quercus@hitohaku.jp まで、データを送ってください。

ポスター発表・作品展示については、2月6日 (土)、7日 (日)、9日 (火)、10日 (水) の 10:00～17:00 および当日朝 9:00～10:00 に展示作業をすることが可能です。設置作業を行う日を事前にご連絡ください。

昼食

館内に食堂はありません。周辺のショッピングセンターで食事や買い物ができます。館内 (ひとはくサロン) でのご飲食は可能ですので、時間の節約のため、昼食の持ち込みをお勧めします。

茶話会

ひとはくサロンで行います。お茶とお菓子の簡単な会です。各賞の表彰式も行います。ぜひご参加下さい。当日参加も可能ですが、準備の都合がありますので、事前にお申し出のほど、よろしく願います。飲料その他の差入れを歓迎します。冷蔵庫での保管が可能ですので、必要に応じ係の者にお申し付けください。会費は大人 (高校生以上) 100 円、こども (中学生以下) 50 円です。茶話会受付でお支払いください。

聴講申込み・問合せ先

兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習推進室 橋本佳延 (連携・アウトリーチマネージャー)
電話 : 079-559-2001 (代) / FAX : 079-559-2033 E-mail : quercus@hitohaku.jp



「第 5 回共生のひろば」は、生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) の開催を盛り上げる、COP10 支援実行委員会パートナーシップ事業として登録しています



REGIONAL CENTRE OF EXPERTISE
ON EDUCATION FOR
SUSTAINABLE DEVELOPMENT

ACKNOWLEDGED BY



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

本事業「共生のひろば」は、国連大学が推進している「持続可能な開発のための教育に関する地域拠点 (RCE: Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development)」の一つである RCE 兵庫-神戸の事業の 1 つに位置づけられています。RCE は国連が決議した「持続可能な開発のための教育の 10 年 (DESD)」を効果的に進めるために、地域の生涯学習にかかわる機関や組織、団体などと連携・協力する地域のネットワークです。

この事業は JST 地域ネットワーク支援事業の支援を受けています。